

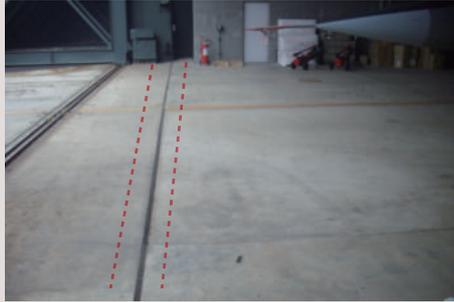


### Case1 基地格納庫出入口部の段差を解消

#### 土間床沈下修正工事

- 格納庫
- 最大段差量：20mm

沈下が生じた土間コンクリート床下に、ウレタン樹脂を注入し、発泡圧力で土間コンクリート床を押し上げフラットに修正

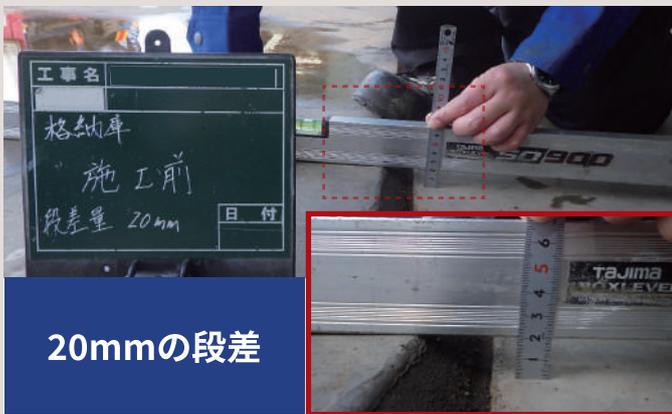


基地格納庫出入口部に生じた段差



土間コンクリート床下にウレタン樹脂を注入

#### 施工前



#### 施工後



### Case2 基地油脂庫の沈下による傾きを修正

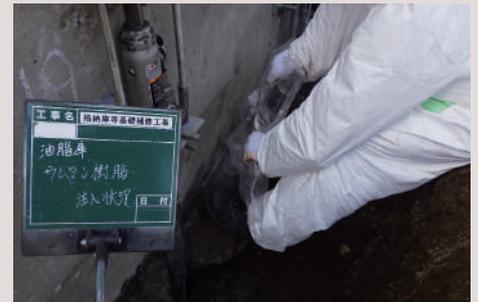
#### 単管圧入・沈下修正工事

- 油脂庫
- 最大沈下量：352mm

油脂庫外周基礎に単管杭を21箇所設置・圧入し、ウレタン樹脂と併用した沈下修正を行い、傾きを修正



単管杭・ボトルジャッキでレベルを調整



レベル調整を行った後、基礎下にウレタン樹脂を注入し空隙を充填

#### 施工前



#### 施工後



## Case3 基地車庫舗装版の段差を修正

### 車庫舗装版沈下修正工事

- 消防車庫
- 最大段差量：61mm

沈下が生じた車庫舗装版下に、ウレタン樹脂を注入し、発泡圧力で車庫舗装版を押し上げフラットに修正



車庫舗装版が沈下し段差が発生



車庫舗装版下にウレタン樹脂を注入



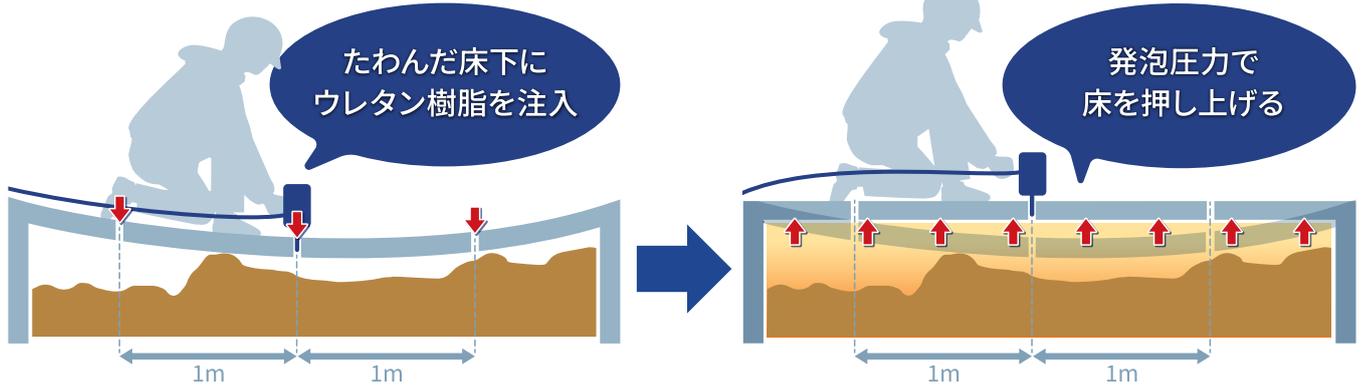
施工前



施工後

## ウレタン樹脂を使用し、格納庫・倉庫の床の段差や傾きを修正します

アップコン工法【コンクリート床スラブ沈下修正工法】  
ウレタン樹脂注入イメージ



### 特長1 従来工法の約1/10の工期で施工可能

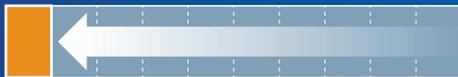
従来の工法

沈下したコンクリート床撤去（コンクリート床破砕） → 新しいコンクリート床打設

- 配筋 / 型枠設置
- コンクリート床打設
- 仕上げ / 養生 / 型枠撤去など

10日以上

アップコン工法



わずか1日

アップコン工法は既設コンクリート床の取り壊しや養生期間を必要としないため、従来工法と比較し大幅な工期の短縮を実現します。

### 特長2 設備や荷物の移動をせずに施工可能



アップコン工法は既設床を壊さず施工をするため、設備や荷物の移動を極力抑えた施工が可能です。そのため、格納庫・倉庫などで設備や荷物の代替スペースの確保が不要です。機動力を落とさずに、床の沈下を修正します。



**UPCON**  
アップコン株式会社

本社 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟611  
連絡事務所 札幌 / 仙台 / 名古屋 / 大阪 / 福岡 **日本全国 調査・施工**



**0800-123-0120**

Webで検索

**アップコン**   
upcon.co.jp